

序 文

一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会は、国土交通省の建設コンサルタント登録規程に従って登録された、長年の経験と豊富な技術を有する会員により構成されています。昭和56年に任意団体として発足し、昭和60年に社団法人として設立が許可され、平成27年には、社団法人化30周年を迎えました。それを契機として、新ビジョン「AWSCJ Vision 2015-2025」～これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦～を策定し、平成28年度はその実現にむけ中期行動計画の策定と具体的行動に一歩踏み出したところです。

本協会では、上下水道事業の推進のため幅広い活動を活発に行っております。その活動の一環として、会員の技術力及びマネジメント力の向上を図るため、技術・研修委員会を中心に昭和61年度より毎年研究成果を技術報告集として刊行してまいりました。平成19年からは収録しやすいCD-ROM版を作成しており、このたび平成28年度技術報告集（第31号）をとりまとめ、公表する運びとなりました。

上下水道は、持続可能な循環型社会における国民の安全、安心、環境を守り、かつ地域の活性化にとって重要な社会インフラとしての役割を有しております。また水コンサルタントは、厚生労働省「新水道ビジョン」、国土交通省「新下水道ビジョン～循環のみちの持続と進化～」新たな事業計画のフォローアップ、マネジメントの時代を踏まえてのストック・アセット等各種マネジメントや施設老朽化対策、低炭素社会の実現、地震・津波対策、危機管理対策等に対応して、迅速に効率的な対応や提案をしていく重要な責務を担っております。

その提案先である中小規模の事業体等においては、近年職員の削減等により業務執行体制の脆弱化が危惧されており、今後、私たち上下水道コンサルタントの担うべき業務領域や役割は一層拡大すると考えております。同時に責任も大いに自覚しているところです。

上記の諸課題を確実に実行していくため、技術力・マネジメント力の一層の向上を目指し、技術報告集の更なる充実と向上に努力してまいります所存でございます。

従来にも増してのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会 長 野村 喜一